

クルマ情報 TOPICS

2020 (令和 2)年

12月

vol. 86



コンパクトカー・ワゴンの雄、相次いで発売

環境性能か、それとも居住性か、注目の2台がフルモデルチェンジ

第二世代e-POWERを搭載

日産が11月24日（火）にコンパクトカーの新型ノートを発表しました。2012年以来8年ぶりのフルモデルチェンジです。注目はハイブリッドシステム、e-POWERの大幅な変更で、トルク、出力、燃費ともに向上、特に燃費はWLTCモードで最高29.5km/Lとするなどエコカーとして更に磨きがかかりました。新型ノートにはこの第二世代e-POWER搭載車のみを設定、6月に発売されたキックスに次ぐe-POWER専用車となりました。



発進時の力強いトルク、「平成30年排出ガス基準75%低減レベル（☆☆☆☆）」認定を取得した燃費、更には静粛性の向上、全てにおいて向上したe-POWERを搭載した新型ノート。

新型ノートに装備された運転支援機能、プロパイロット（メーカーオプション）はNissan Connectナビゲーションシステムと連動する機能を初めて設定。地図情報からカーブやジャンクションの大きさをあらかじめ把握して、スムーズに曲がれるよう車速のコントロールを行う機能が加わりました。最も進化したHVコンパクトカーは12月23日（水）に発売予定です。



プロパイロットはナビ連動を加え、アップデートしました。



9インチワイド大画面のノート専用ナビゲーション。

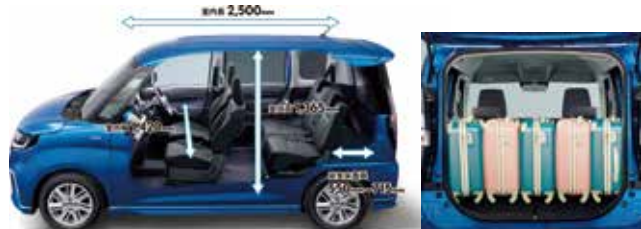
新たな価値を提供する新型SUV

一方、スズキのコンパクトハイトワゴン、ソリオとソリオバンディットも11月25日（水）にフルモデルチェンジを発表しました。コンパクトであるにも関わらず、広い室内空間を両立した新ジャンルカーはそのストロングポイントを更に高める変更を行っています。



ボディサイズは全長3,790mm×全幅1,645mm×全高1,745mm。ハイブリッド車とガソリン車が設定されています。

現行モデルと比較して全長80mm、全幅20mm拡大し、更に室内は快適になりました。これにより、荷室の広さは現行モデルと比べて100mm拡大、後席シートを最前列にスライドしなくてもスーツケースを5つ積むことが可能となりました。また、後席のゆとり感も改善し足元は余裕の空間となりました。新型ソリオ・ソリオバンディットは12月4日（金）に発売となりました。



新型ソリオの室内長。

スーツケースも5つ積載可。



足元ゆったりの後席（左画像）。荷室下に設けられたサブトランク（2WD車）（右画像）。

東京海上日動のおクルマ購入サポート制度をご利用ください。

自動車販売店へご訪問する前にご相談ください。